

～活動の報告と計画～

予算対策委員会

委員長 中里保育園 青野貴芳

令和四年度に入り、一般的なコロナ対応は徐々に緩和されていますが、保育所等では依然として感染者が出ており、対応に追われている状況です。

いつ終わるか分からない状況に苦慮しつつも、各施設は、地域で最も身近な子育て支援の拠点として日々奮闘していることは、みなさまご承知の通りです。

県保育連合会は、次の十一項目を静岡県に對して要望しています。過年度と変わらない内容も多くありますが、未だ実現していないものなので、粘り強く要望していきます。

- ①保育標準時間認定児の保育利用時間の長時間化に對応した職員配置の改善を要望します。
- ②乳幼児保育事業の充実及び四・五歳児の職員配置の改善を要望します。
- ③調理員の配置数の改善について要望します。
- ④園児数の減少、定員割れへの対応について要望します。
- ⑤物価高騰への対応について要望します。
- ⑥保育士確保及び定着促進のための環境改善支援策を要望します。
- ⑦年度途中入所サポート事業の継続について要望します。
- ⑧保育体制強化事業と保育補助者雇上強化事業の継続的な運用を要望します。
- ⑨南海トラフ地震等大震災に對する安心・安全な施設の充実が図られるよう要望します。
- ⑩新型コロナウイルス

感染症対策について、状況に応じた支援を要望します。⑪産休等代替職員雇上事業の補助基準額の増額について要望します。

加えて、保育三団体の予算対策活動に参画し、国に對して要望をしています。

海外交流委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

少しずつ、海外への訪問、観光ができるようになってきましたが、今年度も海外への研修は難しいです。そこで国内へ目を向け、年度内に行えるよう現在訪問地を検討中です。

国内の観光ができるようになり、季節によっては、移動手段の確保が困難なところもあり、委員会や県保連のアドバイスをいただいているところです。

この視察研修で大切にされているところは、保育の場を視察するとともに、その国の教育にかかわる行政との話し合いが中心にあります。お国柄を知り理解するには、その国の人と出会い、生活を知り、空気感を感じることが大切な研修です。世界各地での感染が収まり、従事されている方、病の後遺症にいらる方々が癒され、訪問がかなうことを祈るばかりです。

少子化対策委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

保育所・認定こども園利用者以外に、子育て支援への関心と理解を求める啓発活動を行った場合の経費（一事業五万円）を助成する「子育て支援啓発活動事業助成金制度」を実施しています。これは複数の施設や団体で行う事業であれば、民間園や公立園の区別なく、また、保護者会等の団体でも助成対象としてあります。各支部三事業（十五万円）の予算を組んでおりますので、この助成金を活用したい団体は、各支部事務局にご連絡ください。

啓発品については「あいあいホットマーク」のクリアファイル（こちらは、保護者の皆さんへの年度当初の書類配布や、入園案内などに添えてお渡しするなど活用していただいております）、現在新しい色を検討中です）、ピンバッチ、付箋セットがあります。啓発活動の助成が幅広く行えますよう、皆様のご協力を宜しくお願いします。

研修委員会

委員長 野中こども園 中村章啓

今年度も感染症対策として、研修委員会で企画する事業はリモート開催（あるいは併用）を視野に入れて検討していますが、幸いにも、

所長研修会（総会時）および新採研修（本部会場）は参集開催することができました。今後オランダデマンド配信や、ハイブリッド開催等も併せて検討していく予定です。

所長研修会には、文科省・幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会委員の宮下友美恵氏（静岡豊田幼稚園園長）をお招きし、幼小接続に係る実際の取り組みについてご講義いただきました。

新採研修（五月）では、百名近い参加者が、保育所・保育士の使命と役割、SNS利用時の倫理的判断、接遇等について学びました。今年度内に計画されている研修会は次の通りです。

- 民間園長研修会  
（十一月二十一・二十二日）
- 施設長研修会（十二月九日）
- 育児相談研修会（十二月十五日）
- 新規採用予定職員研修会（二月）

**キャリアアップ委員会**

委員長 聖心保育園 吉川慶子

静岡県保育士等キャリアアップ研修は今年度も静岡県から委託を受け、六月二十一日第一回目の「乳児保育」の分野からスタートとなりました。

昨年度は感染状況に左右され日程の変更等

余儀なくされました。今年度も引き続き感染防止対策を取りながら、基本参集型での開催となります。

受講される方が、自身のキャリアパスのために必要な研修受講に対し「自ら深く学ぶ」意味を再認識していただき、自身の学びを日々の保育に還元していただけることを願っています。また、受講に際して書類等の不備が無いよう、各施設担当者様にご配慮いただけますようお願いいたします。

**広報委員会**

委員長 城北保育園 松田剛

今回、保育川柳を皆さんに募集しました。素晴らしい作品をいただきました。ありがとうございました。これからも続けて行きたいと思っておりますので皆さんからのたくさんの応募を待っています。

コロナ禍での生活も三年目を迎え、段々普通の生活を取り戻しつつあります。研修会は、WEB研修から対面式の研修に変わり、研修会の報告を今までのように出来ることに喜びを感じます。コロナ禍の中で皆さんが取り組んだことや新しい発見などが、これからの皆さんの情報発信していきたいと思えます。広報委員会では、これからも新しい企画を募

集しておりますのでご意見、ご感想をお寄せください。

**青年部会**

部会長 すみれ認定こども園 後藤恭佑

研修会やイベントが少しずつですが、対面式で開催されるようになってきました。青年部会においても今年是对面での総会や各研修なども計画していこうとおもっています。コロナ禍からもうすぐ3年目をむかえようとしています。これまでの経験をいかして、より積極的に活動をしていこうとおもいます。その初めとして、今年の青年部総会是对面式での総会を開催することができました。また、一部研修ではリモート研修をとりいれながらおこなったり、充実した総会になったように感じます。

コロナ禍においても、幼児教育、人材確保、待機児童問題等々、問題は山積みですが、コロナ禍で経験したものは、貴重な財産のようにも感じます。それらを生かしつつ、組織としても個人としても、向上できるように精進して参ります。どうぞ、皆さん、よろしくお願いたします。

